

第5期多摩区地域福祉計画の基本理念及び基本目標について

アンケート結果からの課題（裏面）

- ・ 第4回地域福祉実態調査
- ・ 平成28年度多摩区区民意識実態調査
- ・ 多世代が安心して暮らせる地域づくりに向けた調査



課題から見える取組の方向性

- 1 地域活動への参加のきっかけづくり
- 2 地域交流や助け合い意識の向上と多世代交流の推進
- 3 孤立死を防ぐ声かけ・見守りの推進



基本理念

多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

基本目標（案）

- 1 多様な主体が参加する地域づくり
- 2 多世代交流がつながる地域づくり
- 3 見守り・支え合いのネットワークづくり

# 基本理念の設定について

## 第5期 基本理念（案）

### 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

人と人との「つながり」や「交流」といった「地域共生社会」を重視した理念

※アンケート結果のまとめ

第4回川崎市地域福祉実態調査

平成28年度多摩区区民意識アンケート調査

多世代が安心して暮らせる地域づくりに向けた調査

近所との交流が必要だと考える人が多いが、面倒なのであまりしたくない人もいる

孤独死防止のためには住民同士の声かけ・見守りが有効という意見が多い

孤立死防止には、地域連携が重要（近所や民間業者等による安否確認）

市民が地域福祉の推進をするには、地域交流や助け合いの意識の向上が重要

役に立ちたいとは思うが、役立っているとは思わない

近所に期待する手助けや自身ができる手助けとして、声かけ・見守りが多い

町内会・自治会に参加しない人にはきっかけがないという人もいる

世代や暮らしぶりが異なると交流は少なくなる

地域活動やボランティア活動  
たとえば町内会・自治会というイメージの人が多い

自分の関心事は自身の世代に関するものが多くなる